

市区町村名	愛媛県大洲市	担当部署	長浜支所
		電話番号	0893-52-1111

1 取組事例名

愛媛県立長浜高等学校生徒応援事業の創設

2 取組期間

令和4年度～令和8年度（予定）

3 取組概要

愛媛県立長浜高等学校に通う通学困難な生徒に対して、下宿等における生活家電の設置、家賃等の一部負担、入学支度金の支給を行うことで、入学生徒数確保の側面的な支援を行う。

4 背景・目的

本市の長浜地域において、唯一の高校である長浜高等学校は、全国唯一の部活動である水族館部の活動や2015年の国際学生科学技術フェア世界4位をはじめとした各賞の受賞、テレビ出演などにより、地域住民に活力を与え、地域にとって必要不可欠な学校である。

しかし、同校は入学生徒数の減少により、愛媛県の県立高等学校の再編整備基準に掲げられている小規模校の分校化の基準に該当し、分校化及び長期的には廃校の危機に直面していた。

全国募集をはじめた長浜高等学校の入学生徒数の確保を積極的に支援し、その将来的な維持・発展を図ることにより、同校教育のさらなる振興並びに地域活性化につなげる。

5 取組の具体的内容

(1) 下宿等生活家電等整備事業（下宿等における生活家電等に係る経費）

長浜高等学校が指定する下宿等に入居する部屋の生活家電等（エアコン、洗濯機、冷蔵庫等）の整備費用として1戸当たり共用部分200,000円、単独部分100,000円を上限として補助。

(2) 下宿等生活支援事業（下宿等の家賃等に係る経費）

長浜高等学校が指定する下宿等に、市外から単身で入居した生徒又は同一の下宿等に他の生徒と同居した場合や市内において市が遠距離により通学が困難と認めた場合、下宿等の家賃1箇月当たり30,000円/戸を上限として補助。（最長3年）

（ただし、補助対象経費の月額が30,000円/戸に満たない場合は、当該経費を超えない額とする。）

(3) 入学支度円滑化事業（入学時の諸準備に対する補助）

下宿等に入居する際の諸準備等に必要となる費用として、生徒1人に対して、入学支度金として、200,000円を支給。

(4) その他事業

補助金支給等の手続きに必要な経費に対する補助。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

・補助対象者を生徒ではなく、地域の住民や団体、中学校、高校等で構成される「長浜高校を応援する会」にしたことで、下宿生徒が卒業した後も生活家電等を会で管理し、次の新入生に継続して利用できるようにした。

・「長浜高校を応援する会」の事務局が長浜高校内にあるため、生活実態の把握が容易にでき、連絡・確認など事業の円滑化が図れる。

7 取組の効果・費用

長浜高校の生徒数は、令和2年度37名、令和3年度28名で、令和4年度が40人以下の場合、分校化になるところだったが、令和4年度は57名が入学した。長浜高校の生徒数確保に向けた取組に対し、側面的な支援を行うことができた。

令和4年度事業利用状況（見込み）

(1) 下宿等生活家電等整備事業（下宿等における生活家電等に係る経費）	1,637,670円
(2) 下宿等生活支援事業（下宿等の家賃等に係る経費）	2,460,000円
(3) 入学支度円滑化事業（入学時の諸準備に対する補助）	2,800,000円
(4) その他事業	141,460円
	計 7,039,130円

令和4年度入学生徒のうち、本事業を利用した入学生徒数 14名

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・他市町の支援との差別化をどう図るか。
- ・通学困難地域をどのようにして決めるか。

9 今後の予定・構想

- ・本事業は、原則、令和8年度までとし、その時点での県立高校再編整備基準や長浜高校の入学者数の状況等を踏まえ、随時、継続か否かを判断することとしている。
- ・入学生徒が増えたことにより、下宿先の確保が困難となっている。高校や地域の団体等と協力し、安全・安心な住環境の提供に努める。

10 他団体へのアドバイス

- ・高校や支援団体等と密に連絡を取り合い、必要な支援について話し合うこと。

11 取組について記載したホームページ

なし